

開発改善ニュース

組合員さんの声
以前は3連になつた写真だったのに、ひと盛りの写真に変わつてから、見逃す事が多くなりました。分かれづらいので以前の写真に戻して下さい。

27号からの変更でイメージ写真の掲載になりました。今後は包材(パッケージ)写真も掲載します。

改善後
39号から
現品写真の掲載

423 厚さ約2.5mm。
カタ肉を中心
に使用。脂肪の
割合は20%以下。
次回予定 毎週
産直豚小間切(使いきり3袋)
計100g×3
消費 お届け日含め4日
予約登録 3点以上で
5円引き
146円 438円
産地案内は26ページをご覧ください

421 厚さ約2.5mm。
カタ肉を中心使用。
脂肪の割合は20%以下。
次回予定 毎週
産直豚小間切(使いきり3袋)
計100g×3
消費 お届け日含め4日
予約登録 3点以上で
5円引き
146円 438円
産地案内は24ページをご覧ください

組合員さんの声で、商品案内は改善されています。ぜひ皆さんのお声をお寄せください。

コープベル ☎ 0120-706-887

Report 商品安全検査センター

実際の食事を使った放射性物質の調査について

東海コープ商品検査センターでは、日本生協連や全国の生協と協力し、「放射性物質の食事摂取量調査」を行っています。一般家庭の日々の食事に含まれる放射性物質の実態を科学的に調査すること、調査結果を分かりやすく提供し現状を正しく理解していただくことを目的としています。このような大規模な実態調査は極めて貴重な調査となっています。

◆ 調査のすすめ方と結果

協力組合員に、実際の食事2日分（6食+間食、飲み物）を1名分余分に作ってご提供いただき、検査を行っています。2011年度は250件、2012年度上期は334件（どちらも福島県100件を含む）にご協力いただきました。対象地域は東北、北関東を中心とする18都県で、愛知、岐阜、三重の3生協からも計10件のサンプル提供をいただいています。検査の検出限界値は通常より低い1ベクレル/kgで、2回分の調査結果は次の表1のような内容です。

地域	2012年度上期調査		2011年度調査		
	実施数	検出数	検出値(Bq/kg)	実施数	検出値(Bq/kg)
全体	334	3	検出せず～3.2	250	11 検出せず～11.7
岩手県	20	0	検出せず	10	0 検出せず
宮城県	54	1	検出せず～1.1	11	1 検出せず～1.0
福島県	100	2	検出せず～3.2	100	10 検出せず～11.7
茨城県	15	0	検出せず	10	0 検出せず
栃木県	12	0	検出せず	10	0 検出せず
群馬県	15	0	検出せず	10	0 検出せず
埼玉県	12	0	検出せず	10	0 検出せず
千葉県	15	0	検出せず	11	0 検出せず
東京都	11	0	検出せず	10	0 検出せず
神奈川県	10	0	検出せず	10	0 検出せず
新潟県	20	0	検出せず	9	0 検出せず
山梨県	10	0	検出せず	9	0 検出せず
長野県	10	0	検出せず	10	0 検出せず
岐阜県	2	0	検出せず	2	0 検出せず
静岡県	10	0	検出せず	10	0 検出せず
愛知県	5	0	検出せず	5	0 検出せず
三重県	3	0	検出せず	3	0 検出せず
福岡県	10	0	検出せず	10	0 検出せず

*検出限界は、セシウム134、セシウム137それぞれ1Bq/kg
*検出値は、セシウム134とセシウム137の合計

期調査で検出したのは1世帯で、値も2011年度の調査より低くなっています。

以上のように、福島県で検出があった組合員の食事でも放射性セシウムの量は年間許容線量より十分に低く、その状況も2011年から2012年にかけてさらに良くなっています。私たちの住む東海地方ではさらに低いようです。普段の食事は心配ないと言えそうです。

A 日本で栽培されている生姜の種類は生協で買った生姜は、中が黄色で美味しそうです。市販の物とは違うようですが、なぜですか？



市販で多く出回っているのは「大生姜」です。日本の生産量の90%程度を占めています。一塊が1kg程度まで生育する品種で、黄金生姜よりも辛味や香り成分が少ないものになります。

◎薬事法とは…
医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器の品質、有効性及び安全性の確保のために必要な規制などを定めた法律。

基本的に化粧品はほとんど有効期限を表示していません。それは薬事法で有効期限が義務付けられているのは「通常の保管で3年以内に変質するもの」と決められているからです。そのため化粧品には製造日の記載はありませんが、使用期限の表示はありません。

化粧品は一般的に、製品と異なる匂いや色が変色してしたり、油が分離していなければお使いいただけます。開封後は空気や手指に触れると木コリや雑菌が混入する可能性がありますので、出来るだけ早めに（1シーズンのうちに）使い切ることをおすすめいたします。未開封でも、高温多湿の場所や直射日光が当たる場所・温度変化の激しい場所などで保管すると分離や変質の原因になることもあります。

A 市販されている料理酒の多くは、「加塩」で販売されています。お酒に2～3%の塩分を加えて飲用不可にすることで酒税法上の酒類に該当しなくなり、酒税が掛からなくなります。

Q 商品案内に載っている料理酒を注文しようと思ったのですが、「加塩」と書いてありました。一般的に料理酒には塩が含まれているのでしょうか？

A 「無塩」で販売されている酒税対象の料理酒もあります。これらの中には調味効果を高める（照りツヤを良くする、風味を増すなど）ために醸造方法を調整することで、旨み成分を増したり、旨み成分や糖分を添加しているものもあります。

料理酒は「旨みの素となる甘み・辛み・苦み・渋み・酸味の5つが含まれています。飲用の清酒にはこれらの味は雑味として好まれませんので、雑味を除いて製造されております。料理酒は、これら雑味になるものを残して製造しているので、お料理の際に清酒を使用するよりも、より深みのある旨みを与えることができます。

